甲南女子大学の取り組み

ユーハイムのTHEOを活用してコラボ商品

医療栄養学部生にしかできないバウムクーヘン考案

㈱ユーハイム（兵庫県神戸市）と神戸市が推進する「神戸スイーツの魅力発信を通じた地域振興」を目指す取り組みに参画している甲南女子大学医療栄養学部（同）は、この取り組みの一環として、学生たちが管理栄養士養成課程での学びや若者視点を生かし、同社が開発したバウムクーヘンAI職人「THEO（テオ）」を活用したメニュー考案とプロモーション活動に初挑戦した。

同社は神戸市と「スイーツの魅力発信を通じた産業振興」に関する事業連携協定を締結しており、連携内容の一つである「スイーツを通した人材育成に関すること」として、今年5月から同大学との取り組みを開始した。

コロナ禍を経て4年ぶりの通常開催となる大学祭「よつば祭 2023」（10月28・29日）での一般販売に向けて、同社と医療栄養学部の学生16人が共同で商品の考案、プロモーション活動を展開。若年層に神戸スイーツの魅力を伝えることを目的に、ターゲットは10～20代の女性に設定し、管理栄養士養成課程で学ぶ「医療栄養学部生にしかできないバウムクーヘン」をコンセプトとして、メニュー考案に取り組んだ。

数ある神戸地産素材の中でもTHEOが焼いたバウムクーヘンと合う素材を選び、同社と共に試作を重ね、大学祭で販売するオリジナルコラボ商品が完成した。

〝医療に強い〟管理栄養士を目指す医療栄養学部生にとって、小麦アレルギーのある人にもおいしいバウムクーヘンを食べてもらうことは重要な課題の一つであることから、今回のコラボ商品では、THEOが焼くバウムクーヘンで通常は使用される小麦粉を神戸市産の米粉に置き換えて作っており、ほのかな甘みとしっとりとした食感で、どのトッピングにも合うバウムクーヘンに仕上げた。

試作を重ねてコラボ商品が完成した

コラボ商品は、「よくばり南女バウム」（価格：350円〈税込み〉）と、「ディップする南女バウム～コーンスープ～」（価格：400円〈税込み〉）の2種類。「よくばり南女バウム」は手作りいちじくジャム、手作りぶどうジャム＆クリームチーズ、～ホワイトチョコを使った～濃厚きな粉の3種類のトッピングを1本で楽しむことができる。「いろいろなトッピングを少しずつ食べたい」「串刺しで食べやすく」「SNSでシェアしたくなるような見た目」など、ターゲットである10～20代の女性に向けて、大学生が意見を出し合いながら考えた。

また、今回の取り組みでは、同社がJA兵庫六甲「六甲のめぐみ」から、天候の影響で販売ロスになったいちじくを買い取り、使用している。

「ディップする南女バウム～コーンスープ～」は米粉のバウムクーヘンをノンフライヤーで揚げ、フリットにして串に刺し、温かいコーンスープにディップして食べる新感覚のバウムクーヘンで、THEOで焼いた出来たてのバウムクーヘンをノンフライヤーで揚げたフリットは、外はサクッと中はしっとりと仕上げている。

学生が考案した商品を一般販売する大学祭には、THEOを搭載しているフードトラックが学内に登場し、焼きたてのバウムクーヘンを販売する。

同大学医療栄養学部は2018年4月に開設され、「栄養で救える生命（いのち）がある」をスローガンに、近年さまざまな分野での活躍が期待されている〝医療に強い管理栄養士〟を養成している。管理栄養士の資格取得に必要な栄養学に関する科目に加え、医療や疾病を理解するための科目、さまざまな専門職と協力する方法を学ぶカリキュラムを特徴としている。

よくばり南女バウム

ディップする南女バウム～コーンスープ～

オイスカ浜松国際高等学校

SDGs目標達成に向けて活動を推進

地球環境に優しいECOプラロッカー採用

浜名湖畔の自然豊かな環境に校舎を構えるオイスカ浜松国際高等学校（静岡県浜松市）は国際NGOオイスカインターナショナルを設立母体として1983年に開校し、2023年に40周年を迎えた。

同NGOは全ての人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、地球上のあらゆる生命の基盤を守り育てようとする世界を目指して1961年に設立された。同校は同NGOの理念の下、建学の精神として「天文を基調とする真の人間形成に向かって努力し人類恒久平和建設の大道に献身する」、教育目標として「自然の恩恵に感謝し、国際社会に貢献できる心豊かな生徒を育成する」を掲げ、「国際理解教育」と「環境教育」を柱とした体験型教育を実践している。

独自の教育プログラムでは、3年間の進路指導計画を基本に、各生徒が夢の発見から実現まで多様な取り組みを行う。現在、1年生は全員同じ教育課程で基礎学力の定着を目指すとともに、夢の発見に向けて、きめ細かい進路指導などのサポートを受けている。2、3年生は独自のカリキュラムで構成された3コースで、夢の実現に向けて学んでいる。

3コースのうち、国際文化コースは留学生と同じクラスで学習し、国際感覚を身に付ける土台をつくり、国内外の大学を目指す。

オイスカ浜松国際高等学校のキャンパス

特別進学コースでは、国公立大学や難関私立大学などを目指す。授業だけでなく、志望校別の課外講習や長期休業中の講習会などで受験に対応した学力を育成する。

グローバルキャリアコースは大学進学から就職まで、多様な進路に対応した教育課程を編成したコースで、進路希望や興味・適性に合わせた独自の科目を設定している。

2024年度には全学年にスポーツと健康面からライフマネジメントを学ぶことができる「スポーツウェルネスコース」を新設する。これによって、1年生は同コースと普通コースの2コース、2、3年生は4コース体制となる。

これらの学びに加え、SDGs目標達成に向けた活動も推進。「オイスカSDGs教育 3つの宣言」として▽環境問題解決の実践力を身に付けた生徒の育成を目指す「環境教育宣言！」▽多文化共生社会に貢献できる生徒の育成を目指す「ミニ・ワールド宣言！」▽将来の地域社会を担う生徒の育成を目指す「地域協働宣言！」を掲げ、体験学習や、生徒の有志メンバーによる「環境SDGsプロジェクト」などで活動に取り組んでいる。

こうした中、同校は2023年4月入学の新入生が使用するロッカーとして、㈱プラロッカーのECOプラロッカーを採用した。昨年度よりも新入生が増えたため、各生徒によるロッカーの個人所有を検討したところ、同校の鬼石貞治校長が新聞記事で、再生材を使用して製造された地球環境に優しい同ロッカーを知り、SDGsの観点から同校の教育に合っていることや、軽量で持ち運びしやすく、組み立ても生徒自身でできることなどから採用を決めた。

パステルグリーンで統一したロッカー

鍵が付いており、生徒自身で貴重品管理が可能で、扉の色も選択でき、教室の雰囲気づくりができる点も決め手となった。

導入後、初めて鍵付きのロッカーを所有した新入生は貴重品をしっかり管理できるようになった。ロッカーの扉の色はパステルグリーンとし、教室の雰囲気が明るくなった。

同校では、これからは新年度のクラス替えのときに生徒が自分のロッカーを運ぶことができ、組み換えも自由なため、ロッカーを増やすことも容易になるとしている。

生徒からは「ロッカーを個人所有することで愛着が湧き、大事に使う気持ちになる」「安心、安全に貴重品を管理できる」といった声が寄せられている。同校は今後も、SDGsの観点と、教育目標の「自然の恩恵に感謝する心」を育てるという観点から、施設や設備を充実させていく。来年度以降も同ロッカーの導入を続けて、全学年での所有を目指す考えだ。

成安造形大学

11月11日まで 開学30周年記念展覧会開催

感性・認識のエラーの可能性を考える

成安造形大学【キャンパスが美術館】（滋賀県大津市）は、大学開学30周年記念展覧会として、セイアンアーツアテンション16「Error of Reality」を10月13日から11月11日まで開催している。

タイトルにある「エラー」という言葉はラテン語を語源とし、本来あるべき状態から逸脱したものというニュアンスを含み、一般に悪いもの、危機的なものと思われがちであるものの、本来は誤りの箇所を特定し、修正するためのヒントを示す役割を担っていることから、同展覧会では現実世界を捉える感性や認識の「エラー」の可能性について考える。

現実世界への感性や認識にわずかなエラーを起こさせ、別の視点から世界を捉える想像力を駆動させる、ユニークでユーモアのある5組の作品を紹介。現実性と虚構性の間を絶妙なバランスで渡り歩くアーティストの表現に触れることで、現実世界への常識をリセットし、日々の不安や閉塞感にわずかながらの風穴を開け、目の前に広がる世界の見方をより楽しく、豊かにする契機となることを目指す。

出展作家は、今村遼佑氏、垣本泰美氏、虚構新聞社社主UK＋同大学在学生、谷平博氏、平瀬ミキ氏。関連イベントとして10月14日に、各会場を回りながら作家とギャラリートークを行うほか、ツアー後にコミュニティスペース「結」でレセプションを開催する。

また、11月2日に同大学聚英館で実施される『Error of Reality』クロストーク」では、同大学の招聘（しょうへい）教授で、滋賀県立美術館ディレクター（館長）を務める保坂健二朗氏を迎え、出展作家と展覧会について意見を交換する。

詳細は同展覧会ウェブサイト（https://artcenter.seian.ac.jp/exhibition/6241/）まで。

菅公学生服

SDGs教育に関する調査データ公開

5割強の学校が積極的に取り組む

菅公学生服㈱（岡山県岡山市）は9月26日、毎月最終火曜日に結果を発信している調査リポート「カンコーホームルーム」Vol．212で「学校のSDGs教育の取り組み」の調査データを公開した。

それによると、全国の中学・高校の教員1400人を対象にした今回の調査では、学校でのSDGs教育について「とても積極的である」（10・4％）と「やや積極的である」（41・9％）を合わせ、5割強の学校がSDGs教育に積極的に取り組んでいると回答した。一方で「全く積極的ではない」（11・2％）という学校も1割程度見られた。

SDGs教育の内容については「生徒による自由研究」「地域の探究」「職場見学・体験（インターンシップ）」などの取り組みを実施している一方、SDGs教育で何をするか「特に決まっていない」（26・4％）、「SDGs教育は実施していない」（19・9％）という回答も2割程度あり、SDGs教育環境に格差が生じている。

SDGs教育への取り組みの課題は「授業準備・進め方」（39・1％）、「授業時間の確保・調整」（38・4％）、「SDGs指導経験・スキルの不足」（31・1％）という授業を行う環境や、経験・スキルなどに困っている教員が3～4割程度見られる。

「生徒のモチベーション」「出張授業・講演会を行う外部講師・企業の選定」「SDGs教育プログラムの開発」等も課題に挙げられ、一部の学校はSDGs教育を行う環境や体制が整っていない、生徒のモチベーションの維持が難しいなどの課題もあるようだ。

2023年は2030年のSDGs達成年限までの中間年に当たり、その重要性が高まっているため、今回、SDGs教育の取り組み状況などについて調査した。調査方法はインターネットリサーチで、実施時期は2023年6月。

金融広報中央委員会

「先生のための金融教育セミナー」

2024年2月29日まで動画11本配信

金融広報中央委員会（東京都中央区）は、全国の小・中・高等学校、高等専門学校、高等専修学校、特別支援学校（学級）、大学教員、教育委員会指導主事、教職を目指す大学生・大学院生を対象としている「先生のための金融教育セミナー（オンデマンド配信）」の申し込み受け付けを行っている。文部科学省、金融庁、消費者庁ほかが後援。

現役教員による動画、金融教育の専門家による動画を11本配信する。配信期間は2024年2月29日までとなっている。参加費無料。

申し込みは、セミナーサイト（https://www.sensei2023.jp/）。

◇問い合わせ先＝「先生のための金融教育セミナー2023」事務局☎03（3554）4453 平日午前10時から午後6時

メールアドレス：sensei2023@stage.ac

武蔵野大学

「EMC Pitch 2023」開催

10月27日まで参加者を募集

武蔵野大学アントレプレナーシップ研究所（東京都西東京市）は12月3日、「EMC Pitch2023─世界の幸せを叫ぶ─」を武蔵野キャンパスで開催する。同イベントは国内外の小学生～大学院生を対象にしており、参加者を10月27日まで募集している。

昨年は日本国内の学生を中心に多数の応募があり、選考の結果、日本、イギリス、カナダに住む11人の学生（12歳～46歳）が各自の「世界の幸せをカタチにするためのアクション」を発表した。

今年は「マインド編」「ビジネス編」の2部門で実施。メインテーマの「世界の幸せをカタチにするために私はどうするか」に基づき、マインド編では個々人の抱える課題から導かれる自身のアクションを宣言する。ビジネス編では具体的なビジネスプランを発表する。

同大学アントレプレナーシップ学部の実務家教員等が審査員を務め、参加者が3分動画に込めた同イベントに対する熱意と意気込みを評価し、出場者を選定する。

選考通過者は12月3日にオーディエンスの前で自らの「想い」を発表する機会が与えられるほか、2024年2月17日開催予定のアントレプレナーシップ学部の実務家教員や起業家・実業家などが集う「EMC Conference」に学生代表として参加する権利を得る。

詳細はEMC Pitchのホームページ（https://mei-emc-pitch.com）まで。

虚子・こもろ全国俳句大会

11月2日までテーマは自由で作品募集

募集部門は小・中・高校生・一般の部

第25回虚子・こもろ全国俳句大会実行委員会などは第25回「虚子・こもろ全国俳句大会」を開催する。作品を11月2日まで募集している。長野県ほかが後援。

応募のテーマは雑詠（テーマは自由）。募集部門は、小学生の部・中学生の部・高校生の部・一般の部に分かれる。

投句料は、一般の部が4句1組2千円、小・中・高校生の部が無料。入賞者への連絡および小諸市公式サイトでの公表をもって発表にかえる。

表彰式は2024年3月16日、会場は小諸市・ステラホール。

◇応募先・問い合わせ先＝〒384－0006長野県小諸市与良町2－3－24（市立小諸高濱虚子記念館）虚子・こもろ全国俳句大会事務局☎0267（26）3010

大学・高校実践 ソリューションセミナー

2023 参加無料 事前申込制

11月21日（火）、22日（水）は、東京・新川本社ショールームで対面での参加も可能です。
セミナーの他、関連ソリューションの展示や未来の教室＆最新オフィス体験ツアーも開催いたします。

オンライン 10/20（金）・11/1（水） 対面＆オンライン 11/21（火）・22（水）

［セミナーのお申し込みはこちら］ https://www.uchida.co.jp/public/solu2023/zs

［主催］株式会社内田洋行 ［後援］New Education Expo 実行委員会 ［特別協賛］インテル株式会社

株式会社 内田洋行 事業企画部 〒135−0016 東京都江東区東陽2-3-25 TEL 03（5634）6397

レーザーで様々な文字や絵、模様を入れることができます。
卒業生から贈る記念品として、在校生へ向けてのメッセージを入れることもできます。
詳しくはお問い合わせください。

屋外家具 ファンダライン ラインナップ

ファンダラインは人工木製の耐久性、耐候性に優れた屋外家具です。屋外で使用しても変色が少なく、定期的な塗装は不要でメンテナンスがしやすいです。天然木のようなささくれが無く、雨ざらしでも安心して使用することができます。

製造・販売元：フクビ化学工業株式会社
デザイン監修：株式会社グランドレベル
問い合わせ先：フクビ化学工業まちづくり事業推進室
〒140-8516 東京都品川区大井1-23-3
TEL：03-5742-6321 MAIL：gksgs@fukuvi.co.jp
http://fandaline.jp/ または ファンダライン 検索

WEBサイト Instagram Facebook